



博物館だより

No.217 2013.5

# ミニミニマインズ

## 平成25年度 企画展「<sup>こう</sup>鑛のきらめき」が好評でした

4月3日(水)より開催していました平成25年度企画展「鑛のきらめき」は、5月19日(日)を持ちまして終了いたしました。会場の新秋田県立美術館には47日間の会期中4,627人の方が来館し、連日賑わいました。



また日本画家の村上祐二氏による特別講演会や、週末2回にわたって開催したワークショップは大変好評で、たくさんの方に参加していただきました。

今回初の試みだった街中に移動しての企画展については



砂漠のハラ

「出張のついでに見られて良かった」「(交通の便が良い)ここで見る事ができて良かった」という声も多く寄せられ、当館に足を運ぶことができなかった方たちに展示を見ていただく良い機会となりました。



三葉虫の化石

### ワークショップの一日

#### 石から絵具を 作ってみよう!

今回のワークショップでは天然の鉱物を粉末状に砕いて岩絵の具を作り、それを使って絵はがきに絵を描きました。



鉱物をハンマーで思い切り叩いて砕きます。想像以上に硬い!硬い!



鉱物のカケラを鉄乳鉢ですりつぶしていきます。ここは男性の出番



ラピスラズリや孔雀石、ヘマタイトなどから岩絵の具を作ります



めのう乳鉢でさらにきめ細かな粉末状にします



サイエンスボランティアや実習生のサポートもあり、岩絵の具の完成にこぎつけました

天然鉱物から作った顔料は粒の大きさや、重ね具合によって表情豊かな色合いを創り出します

### アンケートより

- ◆ 日本画の第一歩を知り、難しさに少し触れた感じです
- ◆ 幅広い年齢層の集まりが新鮮でした
- ◆ 孔雀石からできた絵の具がととてもきれいで親子共々感動しました
- ◆ 前からやってみたく活動だったのでとても楽しかった
- ◆ 大満足!!の内容でした



岩絵の具を前に何を描こうか  
思案のひと時



みんな思い思いに筆を運びます



石を砕き始めてから2時間あまり。ついに絵はがきが完成しました!

博物館実習が  
スタートしました

今年度も博物館実習が始まりました。教育文化学部の3・4年生 28名が学芸員資格の取得を目標に、展示やイベントに関連した業務、見学者への展示案内等の現場に即した課題に取り組みます。

さっそく企画展での入館者調査やアンケート集計、出版社の取材対応などを行いました。博物館だより「ミニミニマインズ」も来月から数回にわたって実習生が作成してお届けします。どうぞお楽しみに！



### 旺文社『蛍雪時代』の取材がありました

5月15日(水)、旺文社発行の雑誌『蛍雪時代』の取材がありました。特集「ユニバーシティ・ミュージアムに行こう」の中で鉱業博物館を取り上げたものです。館長がインタビューに応じ、実習生が館内の案内や標本の解説をして、大学附属の博物館ならではの魅力を伝えました。取材記事は7月号(6月14日(金)発行)に掲載されます。



2名の実習生がガイドに挑戦。展示の見どころを解説しました

## サイエンスボランティア講習会

開催の様子と今後のお知らせ

第1回  
4/25(木)

### 「物理探査装置の案内実習」

西谷 忠師 鉱業博物館長

今年度第1回目は西谷館長が担当しました。多彩なスライド資料を用いての講演の後は、資源探査のコーナーを巡って、実機やパネルの解説などを行いました。新メンバーも参加し、今年度会員の初顔合わせとなりました。



第2回  
5/16(木)

### 「鉱業博物館1階、2階の案内実習」

西川 治 鉱業博物館専任講師

第2回目の講習会は少人数のグループに分かれて、実践的な案内の練習を行いました。小学生や中学生を対象とした案内を想定して、わかりやすく、また興味をもってもらえるようなポイントを押さえながら標本解説に取り組みました。



第3回  
5/22(水)

### 「火成岩のRb-Sr年代 Sr,Nd 同位体比について」

山元 正継 鉱業博物館主事

専門的で高度な内容の講習会でしたが、サイエンスボランティアの皆さんは、ノートをとりながら熱心に聴講していました。



第4回  
お知らせ

### 「秋田の鉱山開発と古銭製造について」

今井 忠男 鉱業博物館主事

- 日時 平成 25 年 5 月 30 日 (木) 15:30~16:30
- 会場 鉱業博物館 3階講堂



江戸時代から明治にかけての秋田の鉱山開発と古銭の製造について、講習を行います。

## 新着標本 展示中

孔雀石、針鉄鉱 (ゲーサイト)



この標本はハンガリーのエトヴェシュ・ロラード大学附属自然史博物館より寄贈されました。緑色の箇所は孔雀石、赤茶色の部分は針鉄鉱の微細な結晶からなっていて、ルーペでも尖っている様子が観察できます。英名の「ゲーサイト」は鉱物学も学んだドイツの文豪ゲーテに由来しています。

平成 25 年度 第 1 回

## 市民開放講座

のお知らせ

「人工結晶が生み出す  
科学の光とエネルギー」

申込は  
不要です

- 講師 佐藤 祐一 鉱業博物館研究員
- 日時 6月13日(木) 15:30~16:30
- 会場 鉱業博物館 3階講堂

発光ダイオードや太陽電池として応用されている人工結晶について解説します。

※当日の聴講・入館は無料です

## ちょっとひとやすみ

鉱業博物館へとつづく坂道の途中に見晴台があります。手形キャンパスはもちろん、秋田市内を広く見渡すことができます。天気の良い日には遠く雪を被った鳥海山も見えますよ。散歩の途中などに立ち寄ってみてはいかがでしょうか？



近所の方の癒しのスポットです